

同棲カップルの 住まい探し

アットホームでは、19歳～29歳の同棲をしているカップルを対象にアンケートを実施しました。同棲カップルの実態をはじめ、住まいを探す上で自分が譲れなかった／譲った条件や設備、住まいを探す上で大変だったことなどを調査してみました。



調査概要

現在、お付き合いをしているパートナーと同棲をしている19歳～29歳までの男女428名



男性201名



女性227名

全体 428名

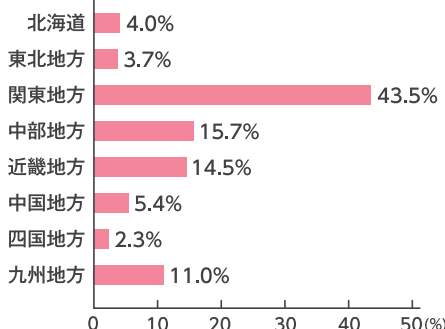
調査方法

インターネットによるアンケート調査

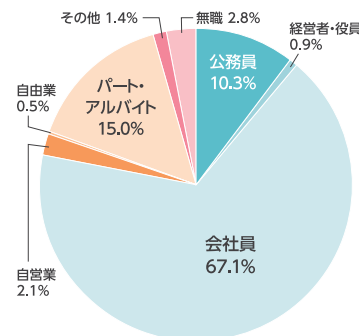
調査期間

2024年3月7日～3月12日

地域



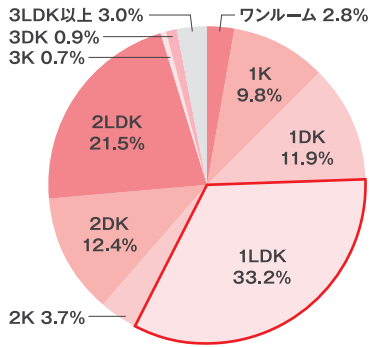
職業



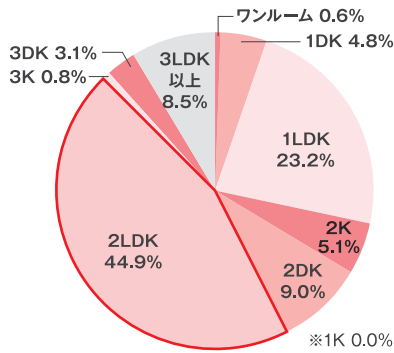
同棲カップルの実態

同棲における理想の間取り1位は「2LDK」で4割超
住まい探しにおける主導権は、男女どちらもパートナーに譲っていると認識

Q 現在お住まいの間取りを教えてください。



Q 同棲するにあたり、理想の間取りを教えてください。(その理由も教えてください)



Q 現在の住まいに関して教えてください。(自由回答)

	平均
家賃	8.4万円
最寄り駅からの距離(徒歩分数)	14.1分
自宅から自分の勤務地までの片道の分数 (交通機関を利用した時間も含む)	32.3分
自宅からパートナーの勤務地までの片道の分数 (交通機関を利用した時間も含む)	31.6分
契約時の築年数	12.4年

理想の間取りを選んだ理由を聞きました！

1LDK派

- ・活動するためのスペースと寝室があれば充分。むしろ広すぎると結局別々で過ごして一緒にいる意味がないように思える。(女性)
- ・会話がしやすい。(女性)

2LDK派

- ・お互い1部屋ずつ欲しい。かつ個室が離れている間取りだと良い。(女性)
- ・部屋数が多い方が収納スペースが広い。(男性)
- ・お互い在宅勤務の日があるため、個々で作業できる部屋がある間取りが理想。(女性)

3LDK派

- ・物が多いので、できるだけ広い物件が良い。(男性)
- ・将来子どもが生まれたときのことを考えて、もう1部屋欲しい。(女性)

現在同棲している住まいの間取りを聞いたところ、1LDKが最多で33.2%、次いで2LDKが21.5%と続きました。一方、理想の間取りは2LDKが最多で4割を超えました。理由を聞くと「お互いの部屋として活用したい」「個々で仕事や作業ができる部屋があると良い」などの回答が見られ、それぞれの時間を過ごすことができるスペースがあると同棲カップルのニーズを満たせそうです。

Q 以下について、ご自身とパートナーの負担割合を教えてください。

男性から見た 平均割合 男性:女性		女性から見た 平均割合 男性:女性
4.6 : 5.4	住まい探しにおける 主導権	5.4 : 4.6
4.9 : 5.1	住まいを借りる際の 初期費用	6.0 : 4.0
5.1 : 4.9	毎月の家賃	6.1 : 3.9
4.7 : 5.3	毎月の生活費 (食費・光熱費など)	5.5 : 4.5
4.4 : 5.6	家事の担当 (料理・洗濯・掃除など)	4.5 : 5.5

住まい探しにおける主導権は、男女どちらもパートナーに譲っていると認識していることが分かりました。また日々の家事負担は、男女どちらの認識も女性の平均割合が高い結果となりました。

TOPICS

パートナーとの お金の管理方法について 聞きました！

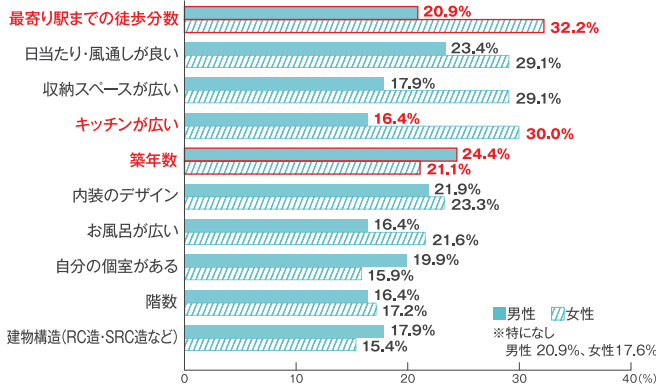
- 共通口座に毎月決まった額を入れている。(男性)
- 給料は全て家計に入れている。(男性)
- 共働き夫婦やカップルでの利用に特化した家計簿アプリを活用して、月に一回精算し、不足分を相手の口座に振り込む。(女性)
- Excelの家計簿を作成し、翌月に後精算をしている。(男性)
- 食費、光熱費、家賃など項目ごとに負担する担当を分けている。(女性)
- 毎月決まった金額をプリペイドカードに入れ管理している。(女性)
- 月4万円ずつ出し、家賃や光熱費などを支払っている。食費は週交代で負担。(男性)

同棲カップルの住まい

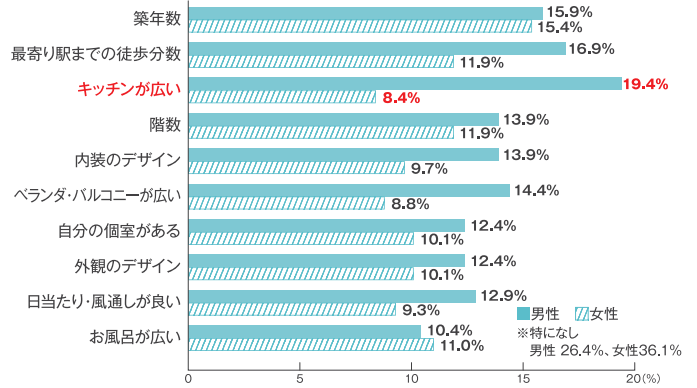
譲れなかった設備1位は、男女ともに「バス・トイレ別」
「生活用品を買う施設が充実している」エリアは、同棲カップルに人気

Q パートナーと現在の住まいを決める上で、自分が譲れなかった／自分が譲った条件・設備を教えてください。
(複数回答／条件：上位10項目、設備：上位15項目)

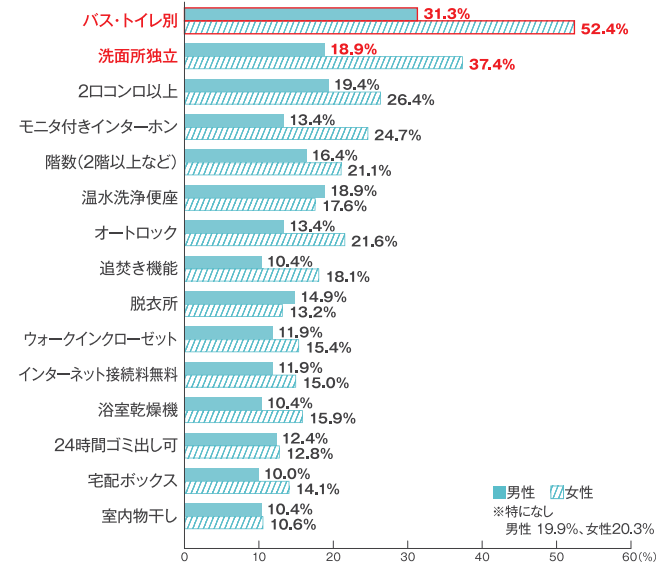
自分が譲れなかった条件



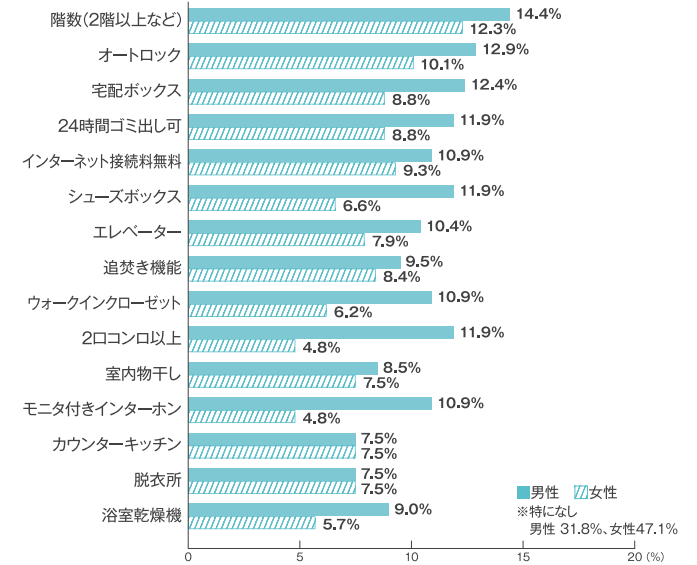
自分が譲った条件



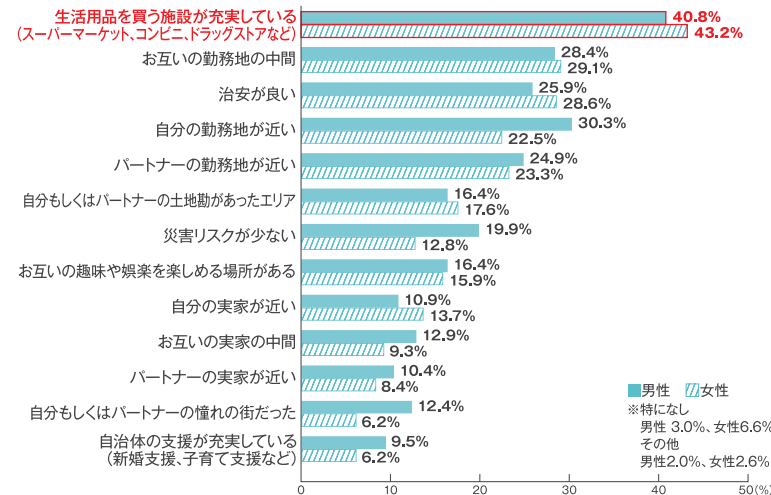
自分が譲れなかった設備



自分が譲った設備



Q 現在住んでいるエリアを決める上で重視したことは何ですか？(複数回答)



譲れなかった／自分が譲った条件・設備

自分が譲れなかった条件1位、女性は「最寄り駅までの徒歩分数」、男性は「築年数」でした。また自分が譲れなかった設備1位は男女ともに「バス・トイレ別」で、女性は半数以上でした。自分が譲れなかった条件・設備の男女差が大きかったのは、キッチンやお風呂などの水回り部分が目立ちました。

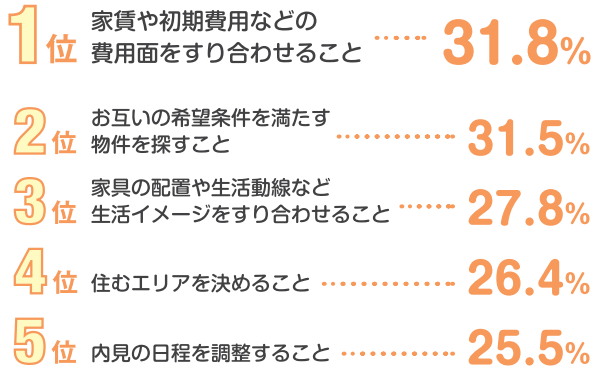
エリアを決める上で重視したこと

1位は「生活用品を買う施設が充実している」で4割超えでした。物件提案時には、周辺環境の充実度を提示すると良さそうです。

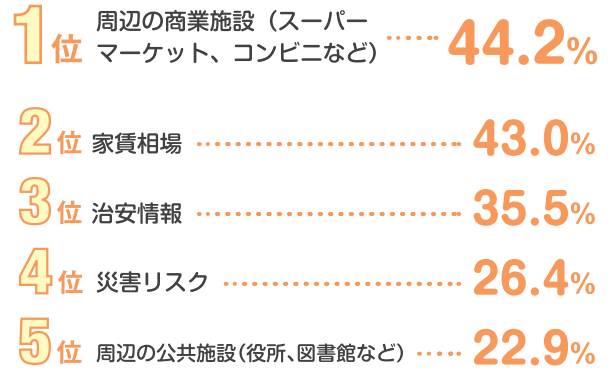
同棲カップルの住まい探し

住まいを探す上で大変だったこと・困ったこと1位は「費用面のすり合わせ」
不動産会社に教えてほしい情報は「周辺の商業施設」で、カップルの約4割が所望

Q 現在の住まいを探す際に、大変だったこと・困ったことを教えてください。(複数回答/上位5項目)

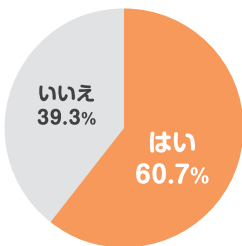


Q 二人で住むエリアに関して、不動産会社からどんなことを教えてほしいですか？(複数回答/上位5項目)

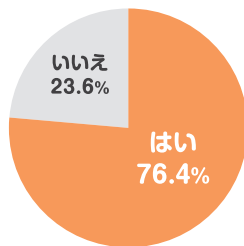


Q 下記に当てはまるものを選択してください。

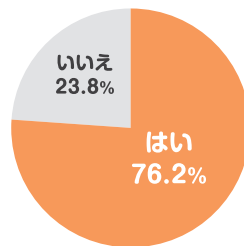
Web上で内見が
できたら便利だと思う？



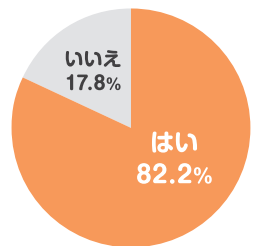
Web上で入居申込が
できたら便利だと思う？



Web上で重要事項説明を
受けられると便利だと思う？



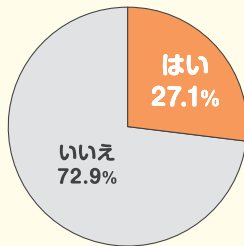
Web上で解約手続きが
できたら便利だと思う？



住まい探しで大変だったこと・困ったことを聞くと、「家賃や初期費用などの費用面をすり合わせる」が1位でした。不動産会社からどんなことを教えてほしいか聞くと「周辺の商業施設」がトップで、「家賃相場」や「治安情報」がランクインしました。カップルのライフスタイルに沿う周辺環境などの情報が住まいの決め手につながりそうです。また「Web上で解約手続きができれば便利だと思う」と回答した人は8割を超えました。

TOPICS

Q 同棲するための現在の住まいを探す際、パートナーとケンカしましたか？



ケンカしたエピソードを聞きました!(自由回答)

- 築年数が浅い物件が良いかどうかで揉めた。(女性)
- お互いの勤務地が離れているため、中間地点にするか、どちらかに近いエリアにするかでケンカになった。(女性)
- 家賃の負担額で揉めた。(男性)
- コンビニやスーパーマーケットが近い物件にするか、駅近の物件にするかどうかでケンカになった。(女性)
- 自分は少しでも家賃を抑え、貯金や旅行に回すことを望んだが、パートナーは物件のクオリティーが下がることを嫌がった。(女性)
- 今住んでいる物件が人気だったため、内見せずに契約するかしないかで少し言い争いになった。(男性)
- 「同棲で2LDKも必要？」と言われ、どんな間取りにするかでケンカした。(男性)

※設問に対する選択項目は、全体平均の降順に並べています。 ※小数第2位を四捨五入しているため、合計100%にならない場合があります。

加盟店専用サイトログイン後、下部の「消費者アンケート結果」より他のアンケートもご覧いただけます。

●お問合せは「営業担当」または下記までお願いいたします。

カスタマーセンター 0570-01-1967

●または
Tel.050-5538-0935

アットホーム株式会社